

# 家族と一緒に読書を楽しみましょう!

～子どもの望ましい読書習慣の定着のために～

## 家読(うちどく)に取り組んでみませんか?

読書は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。

子どもの読書習慣は日常の生活を通して形成されます。

読書が生活の中に位置付けられ、継続して行われるよう、家庭での読書活動の習慣化に向けて積極的に取り組むことが大切です。

家庭で、子どもが本に出会い、本に親しむきっかけをつくったり、読書に対する興味や関心を高めたりできるよう、「家読(うちどく)」に取り組んでみませんか。

「家読(うちどく)ってなに?」

「家読」とは、家庭での読書を通して、家族のコミュニケーションを図ろうという取組です。決まったルールやスタイルはありません。

読書は  
夢のパスポート!

読書は、過去や未来という時間を超えて、地球上のどこへでも、距離や空間を超えて、多くの人々に出会い、様々な場所に旅立つことができる、自分の知らない世界への飛行をかなえる夢のパスポートです。



## 家庭でこんな取組をしてみませんか?

- 絵本や物語の読み聞かせをしてみませんか
- 家族全員が読書をする時間を設けてみませんか
- 家族で同じ本を読んで、話し合ってみませんか
- 折り紙や料理の本などを一緒に読み、実際につくってみませんか
- 家族と一緒に図書館や書店に行ってみませんか



## 1日10分以上の読書に取り組んでみませんか?

読書活動を習慣化するために、毎日、読書に取り組むことが大切です。

例えば、料理が好きであれば料理を題材にした図書を読んだり、昆虫が好きであれば捕まえた昆虫について図鑑で調べ、昆虫に関する図書を読んだりするなど、興味・関心をもったことに関する図書を選び、1日10分以上の読書に取り組むところからはじめてみませんか?

「1日10分以上」の読書時間はあくまでも目安です。読書の量を増やすことだけでなく、いろいろなジャンルの本を読んで読書の幅を広げたり、読書で感じたことや考えたことを話し合うなどして読書の質を高めたりすることが大切です。

## いろいろなジャンルの本を読んでみませんか？

興味・関心のあることに関する内容の読書だけでなく、いろいろなジャンルの本を読んで、読書の幅を広げることも大切です。

次のリストを参考に、いろいろなジャンルの本に挑戦してみませんか。

### 「理科読おすすめ本リスト」

小学校～高等学校の子どもたちの科学への興味・関心をはぐくむための選書「理科読おすすめ本リスト」を作成しています。

「理科読おすすめ本リスト」は、北海道教育委員会のホームページからダウンロード可能です。



【理科読おすすめ本】

### 「おすすめの1冊」

北海道教育委員会ホームページの学校・家庭・地域の連携情報「みんなで」では、北海道で活躍されている方々による「おすすめの1冊」を紹介しています。

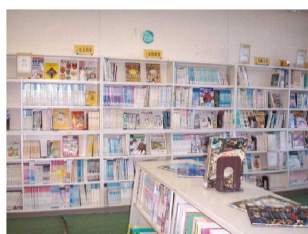


## 知っていますか？ 学校での取組

道内のほとんどの小・中学校では、「朝の読書」などの一斉読書に取り組み、子どもの読書活動の習慣化を図っています。

また、多くの学校で、地域のボランティアの方などが、読み聞かせを行ったり、学校図書館の本の整理やディスプレイを行ったりするなど、読書環境の整備に協力してくださっています。

是非、学校での読書活動を家庭でも継続できるよう、「家読（うちどく）」に取り組んでみませんか。



★★★読書活動に関するお問合せ★★★

北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課社会教育・読書推進グループ

TEL (011) 204-5744